



好な経済や社会や文化をひきつぐことは、現世代の責任であり、現世代のとりかざる政策も、現世代の都合だけで決めてはならないと言ふことであろう。都市政策に関して言えば、次世代以降の人々が、自分の生まれ育った都市に強い愛着を覚え、ここに住むことを誇りとしうるような都市を作り上げて次世代にひきつぐものでなければならぬということであろう。持続可能性原則をこのように理解すれば、これからの都市政策の備えるべき必須の条件を導き出すことができる。

第一に、これからの都市政策は、人間中心であるべきだということ、まことにあたりまえの命題がまず確立される。第二に、そうだとすれば、人間の活動は、経済、社会、文化、生活各方面に複合的にひろがる極めて総合的で複雑なものである以上、都市政策は、経済活動の拠点の確立、都市内産業の振興という経済的な発想に加えて、資源循環型都市をめざす環境政策はもちろん、交通政策、生活の安全、安心などをめざす各種社会政策、文化活動の活性化政策など、公共部門の果たすべき広汎な政策を横断的にとりこんだものでなければならぬ。

第三に、ゾーニング等はなお重要な手法でありうるとしても、その機械的、形式的な適用を排してかなりの弾力的運用を行なう必要が出てこよう。また、自動車重視の発想も修正が必要となるはずである。

第四に、歴史的、伝統的に形成されてきた地域的な個性を徹底的に生かすものでなければならぬ。

都市政策の将来ビジョンの中心にすえるべき「持続可能性原則」とそこから導き出される条件を以上のように理解したとしても、その具体的な適用の仕方は、従来型の発想に比べて著しく弾力性に富むことも留意すべき重要点である。特に、地域の個性を重視するということを前提とすれば、都市政策の具体的内容は、各都市、各地域の置かれた客観的な状況や歴史的、伝統的な社会や文化の状況によってそれぞれ異なってくるからである。そしてその内容を具体化できるのは、住民のみであり、従って、政策立案の過程からの住民参加が必須であるという結論が容易に導き出される。

新たに発足した「独立行政法人・都市再生機構」は、民間でできることは民間に任せ、機構の持つ技術力やノウハウを活用して都市政策を積極的にコーディネートしてゆくことを主任務とする。その際、「コーディネート」の具体的内容としては、「持続可能性原則」をビジョンの中核にすえ、広汎な政策分野を横断的にもりこんだ都市政策の立案、形成に誘導することが将来の理想となるであろう。少なくとも機構はその機能をこの方向に徐々に修正してゆくことによって、着実にその存在感を強化できるはずである。

先に「持続可能性原則」の適用の具体的内容は、都市や地域によって大きく異なりうると述べた。とすれば、「持続可能性原則」を中心にすえた都市政策を実際に立案し、実行し、成果をあげた具体例を参考として研究することが、重要な手がかりとなりうる。欧米各国では、八十年代に入る頃から、新しい発想による都市政策の試みが芽を出し始め、各地で注目すべき成果が報告され、我国でもこれらの実例を深く観察、研究する動きがあり、すぐれた報告書が出版されている。ここでは、私の気が付いた四点を都市政策に関心を持つ広汎な人々に提示し、御参考に供したい。



伝統を保存したカラフルな中心市街地 (スウェーデン・マリェド市)



▲新しい波の御対面 — 西洋と日本

BOOK REVIEW



サステイナブルシティ
EUの地域・環境戦略
岡部明子著 学芸出版社 2003年9月

本書はEUレベルの地域政策と都市政策を、サステイナブルシティ(「持続可能都市」)への努力と成果という観点から、建築専門家の視点の下で分析する。例えば、過去に鉄鋼業等で栄えたスウェーデン北部の工業都市ビルバオが、EU補助金を契機にいかに都市再生を実現しているかを同様の境遇にある北九州市と対比しつつ分析し、あるいは、地域振興における都市の役割を重視した地方共同体レベルのパイロット的都市再生事業の豊富な実例を示し、その成果を具体的に叙述している。本書でもサステイナビリティの概念を、環境政策をこえ、従来の縦割り政策を横断する軸として戦略的に位置付け、既存の都市政策関連領域をすっぽり包み込む傘として把握している点など注目すべき主張を含んで



スウェーデン・スペシャルIII
福祉国家における地方自治
藤井威著 (株)新評論 2003年12月

本書第四章「コミュニケーション諸政策における持続可能性原則」は、スウェーデンのいくつかの都市における再開発政策や都市振興政策の分析にあてられている。ストックホルム市南部で計画され実行されている旧工場地帯ハンマビーの再開発事業や、同国東南部の歴史都市カルマルの都市振興計画について、アジェンダ21の思想に基づく戦略的、横断的コーディネートの実態を解説している。カルマル振興計画を強力なリーダーシップの下で主導したシエル・ヘンリクソン市長は、2003年3月にわが国を訪問し、同市のアジェンダ21コーディネーター、リンドホルム氏とともに講演を行った(スカンジナビア政